

実習レポート (Balkumari College in Nepal)

成田 → デリー → カトマンドゥを経て、アルファ国際学院ネパール校のあるナラヤンガー (Narayanghat) に着いたのは1月24日(木)のお昼でした。カトマンドゥとナラヤンガーとの高低差は1,000m 近くあり、右のバスで舗装の痛んだ山道をエッチラ・オッチラ、5時間かけて行きました。



ナラヤンガーのプルチョークというバス停で私を出迎えてくださったのは、伊藤先生。ホテルにチェックインし、今日は移動日だからゆっくり休むのかと思いきや、“4時からナース科の生徒たちへのクラスがありますから、見学しますか。”と、伊藤先生。

(“厳しい〜”)と、私の心の声

4時、授業を見学。教室は、伊藤先生と古城先生の住んでいる家のリビング、生徒は3人、先生は古城さんでした。



リビングに正座して、卓袱台に教科書を広げての授業、ちょっと珍しい光景。古城先生は、生徒たちから親しみを込めて“あやか先生”と呼ばれ、彼女たちの姉貴分という感じで授業をコントロールしており、声が大きくはっきりしていてテンポ良く授業を進めていて、“流石!”でした。



翌25日、Balkumari Collegeへ。

大学の構内に入るのは、本当に久しぶり。どこからとなく若さと活力を感じる。

午前中は男の子。絨毯の上に座布団を敷き、その上に座ってお勉強です。今、彼らは形容詞を勉強中「い」形容詞と「な」形容詞の活用を特訓中。

“美しいです、美しくないです、美しかったです、美しくなかったです”

“きれいです、きれくないです・・・”

あやか先生“「きれい」は「い」形容詞ですか。”

生徒“きれいです、きれいではありません、きれいでした、きれいではありませんでした”

下の写真の二人の男の子、“イケメン”でしょう。

左(奥)が「ダイヤ」、右(手前)が「あきら」です

今日は金曜、週明け(日曜日)から実習開始、土曜日は教案を考えて、日曜日に臨みます。



実習レポート (Balkumari College in Nepal)

ですが、その前に、金曜の夜、伊藤先生の手料理でディナー歓迎会をしていただきました。

歓迎会も半ば過ぎ、盛り上がりを見せてきた頃、停電（計画停電）です。カンテラの薄明かりの中での歓迎会。初めての経験、私はネパールに居るということを実感した、思い出に残る歓迎会でした。

○日曜日（1/27）、今日から実習、実際に教えます。

1 時限：い／な形容詞

- ・私が話しすぎ。例を出して、生徒に考えさせる。
例：店員の説明で「デパートにはどんな人がいますか。」から、生徒に言わせて考えさせる

2 時限も同じミス。

- ・説明時私が活躍し過ぎ（話し過ぎ）。相手に環境に合わせて話題を作り相手に考えさせる。1コマ目と同じであった。明日は生徒に活躍してもらおう

○月曜日：い／な形容詞 & Verb

- ・1つの文が長かった。短くして、複数の文で。
- ・ネタは日本ではなくネパールで、生徒が「ピン！」と来るもので
- ・生徒に「分かりますか？」と聞いても無駄！と、分かっているのに聞いてしまった。
などなど、反省しきりの一週間でした。

○1/31（実習5日目）

- ・生徒の趣味や人柄も分かってきて、自分のペースで出来るようになった。あと一息、頑張ります。
- ・初級は意味理解に「絵」が必須。プリンターが無いのでPCを活用。目が悪い（年？）ので大きくて重いPCを毎日教室まで運びました。
- ・今日、始めてナース科の女生徒を教えた。今までは太い声で“センセイ”。今日は、可愛い声で
“はい、せんせい！”。

いやぁ～、先生になってホントに良かった。

○月日不明

- ・突然の「学校バンダ」（学園スト）。授業中止。
日本語教室に生徒が遊びに来ました。（日本語教室の生徒ではありません。）
あやか先生、生徒たちの中に深く入り込んでます。
（立派）



実習レポート (Balkumari College in Nepal)

- ・バンダ（ストライキ）に邪魔されながらも1ヶ月間無事実習ができました。最初はどこと無く「よそよそしかった」生徒たちとも打ち解けることができ、まずまずの実習であったと思う。今回の実習で感じた海外で日本語を教える難しさとしては、
日本で日本語を教える場合、教室を出てもそこは日本語の世界。目から耳から日本語が入ってくる。一方、海外で日本語を教える場合、教室を一步出るとそこは日本語が無い世界。日本で学ぶ場合と比べ日本語に触れる時間が少ないため、どうしても日本語能力の向上が遅れてしまう。日本語に触れる機会を如何に多くさせるかが課題。

○2/25 (実習最後の日)

衣装（マフラーと帽子を着用して）で記念写真を撮りました。



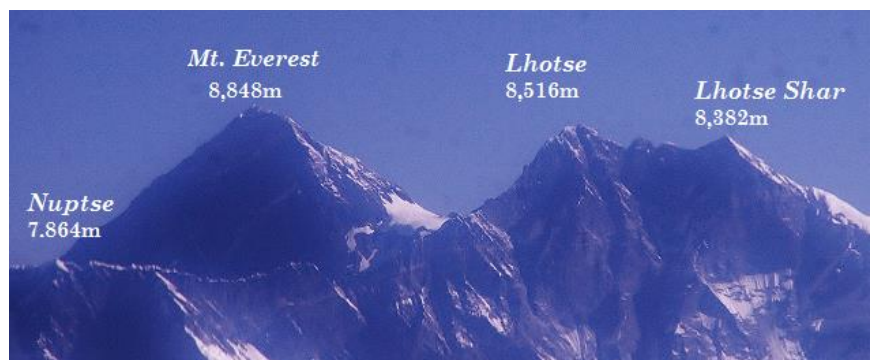
○2/26

- ・ナラヤンガーを発つ日、プラディーブとアキラは、バス停まで見送りに来てくれました。本当に可愛い生徒たちでした。
右の写真：アキラ（左）とプラディーブ（右）
- ・写真はありますが、伊藤先生とあやか先生も見送りに来ていただきました。
- ・指導教官に恵まれ、生徒にも恵まれ、非常に楽しく実り多い実習でした。
- ・伊藤先生・古城先生、色々ありがとうございました。



実習の後、日本から来た友人たちと一緒にエベレストと西ヒマラヤを見に行きました。

エベレスト →



西ヒマラヤ（アンナプルナ）を眺めながらの朝食 →

